

# 組織活動報告（環境管理部門）

環境管理部門 下岡 丈次

## 1. はじめに

環境管理部門の部門目的は、放射線管理、作業環境管理など環境管理系専門技術集団として、全学的安全衛生管理を支援することである。部門スタッフは7名である。技術長は下岡丈次、安全衛生管理班は班長清水高、坂下英樹技術主任、放射線管理技術班は菅慎治技術主任、木庭亮二技術主任、笹谷晋吾技術員、寺元浩昭技術員である。

## 2. 安全衛生管理班

### 2.1 業務概要

- ・工学研究科の安全衛生に関する企画立案，安全衛生管理事務業務
- ・工学研究科建物・電気・給排水・通信・緑地管理支援業務
- ・大型強度試験施設維持管理業務
- ・廃棄物処理支援業務
- ・実験廃液回収管理業務
- ・一般実験系排水処理（業務委託）管理監督業務
- ・安全衛生管理支援業務
- ・作業環境測定支援業務
- ・環境管理支援業務（ビオトープの維持管理を利用した広報活動）
- ・環境安全センターホームページの保守管理
- ・東広島地区各部局の重点巡視に同行・協力する（巡視など技術職員が関わる安全衛生管理業務の中核としての企画立案，全学安全衛生委員会との連携 東広島地区安全衛生委員会に委員として参加）
- ・東広島キャンパスの環境管理の維持保全支援業務（環境管理専門委員会に委員として参加）
- ・東広島キャンパスの委員会に委員として参加していることが極めて重要である。

## 2.2 活動紹介

### (1) 安全衛生講演会開催

平成19年6月29日に安全衛生講演会「安全で快適な職場環境の構築にむけて」～トラッキング火災とその防止対策～を主催：工学研究科，共催：技術センター，協力：全学安全衛生委員会により開催した。工学研究科安全衛生委員会委員長の挨拶ののち，中国四国安全衛生サービスセンター副所長，山岡氏に講演いただいた。参加者は，工学研究科79名，技術センター21名，法人本部4名，他部局8名の計112名であった。

### (2) 掲示の改善

工学部全実験室に高圧ボンベおよび薬品の掲示を行った。



### (3) 高圧ガスボンベ転倒防止対策

学校工場に依頼してボンベスタンドを作成していただき，平成19年度に85台，平成20年度に35台を設置した。

### (4) 地域貢献活動

技術センター主催行事として学園祭時に植物管理室と共同して，環境管理部門清水高が企画立案し工学部ビオトープを地域住民に開放している。多くの部門からの技術センター職員の参加により実施している。



### (5) 実験廃液回収

環境安全センターによる実験廃液回収の計画、通知、事務処理、回収実施を行っている。廃液分別指導、廃液講習の一部も担当している。

### (6) 一般実験系排水処理

環境安全センターの一般実験系排水処理の管理監督業務を行っている。

## 3. 放射線管理技術班

原爆放射線医科学研究所3名、自然科学研究支援開発センターアイソトープ総合部門2名の計5名で4月に発足した。現在は霞地区2名、辻村技術副統括の3名で、原医研と医歯薬総合研究科 RI 施設を担当している。11月現在4名で活動中である。

### 3.1 業務概要

- ・放射線業務における法令関係支援業務
- ・RI 施設管理などの支援業務
- ・RI 施設管理の充実
- ・緊急被ばく医療推進センターからの依頼業務（医学系部門 北川氏との協働による）
- ・地域貢献

### 3.2 活動紹介

#### (1) 霞地区放射線管理技術班として：文部科学省への変更申請書作成業務(短期業務依頼)

- ・変更申請書の作成業務（原爆放射線医科学研究所の放射線施設 C 棟）
- ・遮蔽計算

- ・排水能力計算

- ・排気能力計算

辻村副技術統括と放射線管理技術班にて協同して変更申請書を作成した（4月から7月）

#### (2) 文部科学省への変更申請書作成依頼（文部科学省からの指示）(短期業務依頼8月から9月)

- ・変更申請書の作成業務（原爆放射線医科学研究所の放射線施設全棟）

- ・遮蔽計算

- ・排水能力計算

- ・排気能力計算

辻村副技術統括と放射線管理技術班にて協同して変更申請書を作成した（700頁の報告書）

#### (3) 工学研究科での Co-60照射実験

霞地区から東広島キャンパスに適宜移動して実験を行っている

#### (4) 自然科学研究支援開発センターアイソトープ

総合部門での施設管理・教育研究支援業務

- ・自然科学研究支援開発センターアイソトープ総合部門主催の地域貢献活動（8月6日に一般向実習「目で見る放射線実習」、11月1日に大学祭にて「霧箱で放射線・宇宙線を見よう」を開催。大学祭については日本原子力学会中国・四国支部と共催）

- ・日本放射化学会主催 日本放射化学会年会・放射化学討論会（2008年広島大会）への支援業務

- ・緊急被ばく医療推進センターを通して各県からの講習会に支援職員を派遣（石川県、佐賀県、鹿児島県など）

## 4. おわりに

環境管理部門は今年度より新たに創設された部門であり、且つ東広島キャンパスと広島霞キャンパスとの両キャンパスに構成員がおり、職務内容も法律で規定された業務に従事しており、全員が顔を合わせると言うことは時間的な制約などで非常に困難である。

そのため、出来るだけメールなどを多用して

部門間の連絡やコミュニケーションを図るよう  
にしている。ただし、文章のみで連絡者の意図  
を正確に伝えることは本当に難しいと実感して  
いる所である。

年に数回は実際に顔を合わせて、話し合う機

会作りが環境管理部門の大きな課題でもある。

今後は現状の物理的なギャップを越えて法律  
用務の解釈・運用などに関して班内において正  
確に伝承出来るよう、いろいろな機会を積極的  
に構築していく必要があると思っている。